

一志病院の将来のあるべき姿について（論点メモ）

- 白山及び美杉地域の今後の人口動態や医療制度をめぐる状況の変化を踏まえると、病院運営の一層の効率化を図ることが必要ではあるものの、当該地域においては、同院が医療を提供することが必要ではないか。
 - ・白山及び美杉地域の高齢化が急速に進展しているなかで、訪問診療、訪問看護などを充実していく必要があるのではないか。
 - ・地域包括ケアシステムの構築が必要ななかで、保健・医療・福祉の多職種連携の取組をさらに推進していく必要があるのではないか。
-
- 病院の診療圏がほぼ白山及び美杉地域に限られているなかで、当該地域の住民に対する医療の提供については津市としても責務を負うことから、県と津市とで当該地域における医療提供体制のあり方について、保健・福祉分野との連携のあり方も考慮しつつ、協議していくことが必要ではないか。
-
- 地域医療やへき地医療に必要な人材を全県的に確保していくためには、県として、三重大学と連携しながら、家庭医療（総合診療）を担う人材の育成にかかる取組を支援していくことが必要ではないか。